



2023年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社 ツツミ

上場取引所 東

コード番号 7937 URL <https://www.tsutsumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 互 智司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 吉川 哲也

TEL 048-432-5510

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	18,119	10.0	1,465	36.8	1,507	26.5	909	33.0
2022年3月期	16,477	13.5	1,071	62.8	1,191	70.8	684	61.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	58.21		1.4	2.2	8.1
2022年3月期	43.35		1.0	1.7	6.5

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	68,344	66,534	97.4	4,257.65
2022年3月期	67,914	66,090	97.3	4,229.21

(参考) 自己資本 2023年3月期 66,534百万円 2022年3月期 66,090百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	643	536	469	38,502
2022年3月期	1,515	644	453	38,857

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		15.00		15.00	30.00	471	69.2	0.7
2023年3月期		15.00		25.00	40.00	625	68.7	0.9
2024年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00		134.7	

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	0.4	960	34.5	1,000	33.7	580	36.2	37.11

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	15,630,000 株	2022年3月期	20,080,480 株
期末自己株式数	2023年3月期	2,894 株	2022年3月期	4,453,254 株
期中平均株式数	2023年3月期	15,627,164 株	2022年3月期	15,782,497 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
<継続企業の前提に関する注記>	10
<追加情報>	10
<株主資本等変動計算書関係>	10
<持分法損益等>	11
<セグメント情報>	11
<1株当たり情報>	11
<重要な後発事象>	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立を図る動きから正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向が見られました。一方で、円安の進行や資源・エネルギー価格の高騰による物価の上昇、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

宝飾品業界におきましても、こうした景況を反映し、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況でありました。

このような経済情勢のもと、当社は、品質、デザイン及びコンセプトにこだわった新商品を企画・開発するとともに、既存店のリニューアルを積極的に推し進めるなど店舗の活性化を図り、販売力の更なる強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は18,119百万円（前期比10.0%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が1,465百万円（前期比36.8%増）、経常利益が1,507百万円（前期比26.5%増）、当期純利益は909百万円（前期比33.0%増）となりました。

主要品目の販売実績は、ネックレス・ブレスレットは8,366百万円（前期比15.4%増）、指輪は6,059百万円（前期比3.2%増）、小物は3,854百万円（前期比10.4%増）であります。

店舗につきましては、既存店16店舗のリニューアル及び2店舗の退店を実施いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、68,344百万円となり、前事業年度末と比較して429百万円増加しております。これは主に、商品及び製品が389百万円減少したものの、原材料及び貯蔵品が534百万円、仕掛品が216百万円増加したことによるものです。

負債の部は、1,809百万円となり、前事業年度末と比較して14百万円減少しております。

純資産の部は、66,534百万円となり、前事業年度末と比較して443百万円増加しております。これは主に、利益剰余金が9,612百万円、自己株式が10,052百万円減少したことによるものです。利益剰余金は純利益の計上に伴い増加したものの、配当金の支払、自己株式の消却に伴い減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により643百万円の資金が得られ、投資活動及び財務活動によりそれぞれ536百万円、469百万円の資金を使用したこと等により、前事業年度末に比べ354百万円減少し、38,502百万円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動により得られた資金は643百万円となり、前年同期と比べ871百万円の減少となりました。これは主に、前年同期において、税引前当期純利益を1,121百万円計上し、棚卸資産の減少410百万円、未払消費税等の増加59百万円、法人税等の支払額368百万円があったことに対し、当事業年度において、税引前当期純利益を1,444百万円計上し、棚卸資産の増加361百万円、未払消費税等の減少114百万円、法人税等の支払額514百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動により使用した資金は536百万円となり、前年同期と比べ108百万円の減少となりました。これは主に、前年同期と比べ有形固定資産の取得による支出が42百万円減少し、差入保証金の回収による収入が46百万円増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動により使用した資金は469百万円となり、前年同期と比べ15百万円の増加となりました。これは主に、前年同期と比べ自己株式の取得による支出が880百万円減少し、自己株式取得のための預託金の減少額が904百万円減少したことによるものです。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	97.7	97.3	97.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	50.9	43.3	53.0

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。しかしながら、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

宝飾品業界におきましても、企業に対するお客様の厳しい選別が加速する中、市場競争がなお激しさを増すことと予想されます。

このような経済情勢のもと、当社は、原材料の買い付けから、製造・販売に至るすべてを一貫して行う「パーティカル インテグレーション システム」の利点を活かし、品揃えを一層充実させるとともに、お客様の視点に立ったきめ細かいサービスの向上に努め、多くのお客様から支持される店舗づくりに全力で取り組んでまいり所存であります。

以上により、業績の見通しにつきましては、売上高18,200百万円(前期比0.4%増)、営業利益960百万円(前期比34.5%減)、経常利益1,000百万円(前期比33.7%減)当期純利益580百万円(前期比36.2%減)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、I F R S (国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,857	38,502
受取手形	15	18
売掛金	1,092	1,174
商品及び製品	12,278	11,889
仕掛品	492	708
原材料及び貯蔵品	2,270	2,804
前渡金	0	52
前払費用	36	38
その他	73	62
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	55,111	55,245
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,389	4,075
減価償却累計額	△3,834	△3,293
建物 (純額)	555	781
構築物	63	72
減価償却累計額	△62	△62
構築物 (純額)	1	9
機械及び装置	178	178
減価償却累計額	△151	△148
機械及び装置 (純額)	26	29
車両運搬具	10	11
減価償却累計額	△9	△8
車両運搬具 (純額)	1	2
工具、器具及び備品	1,081	1,116
減価償却累計額	△928	△924
工具、器具及び備品 (純額)	152	191
土地	7,478	5,157
建設仮勘定	576	100
有形固定資産合計	8,792	6,272
無形固定資産		
借地権	152	152
ソフトウェア	110	82
その他	0	0
無形固定資産合計	262	235
投資その他の資産		
投資有価証券	53	58
関係会社株式	58	58
出資金	1	1
長期前払費用	15	11
前払年金費用	173	178
繰延税金資産	164	170
差入保証金	3,272	3,234
投資不動産	-	3,415
減価償却累計額	-	△537
投資不動産 (純額)	-	2,877
その他	9	0
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,747	6,590
固定資産合計	12,802	13,098
資産合計	67,914	68,344

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	256	281
未払金	61	78
未払費用	506	518
未払法人税等	407	434
前受金	62	64
預り金	15	16
賞与引当金	216	220
資産除去債務	5	3
その他	219	106
流動負債合計	1,751	1,722
固定負債		
長期未払金	44	35
その他	26	50
固定負債合計	71	86
負債合計	1,823	1,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,098	13,098
資本剰余金		
資本準備金	15,707	15,707
資本剰余金合計	15,707	15,707
利益剰余金		
利益準備金	600	600
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	46,736	37,124
利益剰余金合計	47,336	37,724
自己株式	△10,060	△7
株主資本合計	66,081	66,522
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9	12
評価・換算差額等合計	9	12
純資産合計	66,090	66,534
負債純資産合計	67,914	68,344

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	16,477	18,119
売上原価		
製品期首棚卸高	12,765	12,278
当期製品製造原価	7,008	8,349
合計	19,773	20,627
他勘定振替高	30	176
製品期末棚卸高	12,278	11,889
原材料評価損	-	3
製品売上原価	7,464	8,565
売上総利益	9,013	9,554
販売費及び一般管理費	7,941	8,088
営業利益	1,071	1,465
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	22	18
為替差益	2	7
受取家賃	47	46
助成金収入	48	-
その他	15	9
営業外収益合計	137	82
営業外費用		
支払手数料	17	-
不動産賃貸費用	-	36
その他	0	3
営業外費用合計	17	40
経常利益	1,191	1,507
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	2
減損損失	47	60
店舗閉鎖損失	22	-
特別損失合計	70	63
税引前当期純利益	1,121	1,444
法人税、住民税及び事業税	446	541
法人税等調整額	△9	△6
法人税等合計	436	534
当期純利益	684	909

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						評価・換算差額等
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
当期首残高	13,098	15,707	600	46,529	△9,193	66,741	13
当期変動額							
剰余金の配当				△476		△476	
当期純利益				684		684	
自己株式の取得					△866	△866	
自己株式の消却						-	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							△4
当期変動額合計	-	-	-	207	△866	△659	△4
当期末残高	13,098	15,707	600	46,736	△10,060	66,081	9

	純資産合計
当期首残高	66,754
当期変動額	
剰余金の配当	△476
当期純利益	684
自己株式の取得	△866
自己株式の消却	-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△4
当期変動額合計	△663
当期末残高	66,090

当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
当期首残高	13,098	15,707	600	46,736	△10,060	66,081	9
当期変動額							
剰余金の配当				△468		△468	
当期純利益				909		909	
自己株式の取得					△0	△0	
自己株式の消却				△10,052	10,052	-	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							3
当期変動額合計	-	-	-	△9,612	10,052	440	3
当期末残高	13,098	15,707	600	37,124	△7	66,522	12

	純資産合計
当期首残高	66,090
当期変動額	
剰余金の配当	△468
当期純利益	909
自己株式の取得	△0
自己株式の消却	-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	3
当期変動額合計	443
当期末残高	66,534

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,121	1,444
減価償却費	220	195
減損損失	47	60
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	4
受取利息及び受取配当金	△23	△19
助成金収入	△48	—
為替差損益 (△は益)	△2	△7
固定資産除却損	0	2
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△90	△85
棚卸資産の増減額 (△は増加)	410	△361
仕入債務の増減額 (△は減少)	72	24
未払費用の増減額 (△は減少)	28	11
預り金の増減額 (△は減少)	△0	0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	59	△114
その他	8	△15
小計	1,811	1,138
利息及び配当金の受取額	23	19
助成金の受取額	48	—
法人税等の支払額	△368	△514
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,515	643
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△579	△537
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△35	△35
差入保証金の差入による支出	△29	—
差入保証金の回収による収入	2	49
その他	△1	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△644	△536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△880	△0
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	904	—
配当金の支払額	△476	△468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△453	△469
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	419	△354
現金及び現金同等物の期首残高	38,437	38,857
現金及び現金同等物の期末残高	38,857	38,502

(5) 財務諸表に関する注記事項

〈継続企業の前提に関する注記〉

該当事項はありません。

〈追加情報〉

(投資不動産の計上)

第2四半期会計期間において、建て直しが完了した店舗不動産の一部を賃貸することとしております。これに伴い、「有形固定資産」の「土地」2,293百万円及び「建物」562百万円を、「投資その他の資産」の「投資不動産(純額)」へ2,855百万円振替えております。

この結果及びその他の目的変更による振替等により、当事業年度末の貸借対照表における「投資その他の資産」の「投資不動産(純額)」は2,877百万円となっております。

〈株主資本等変動計算書関係〉

前事業年度(自2021年4月1日至2022年3月31日)

発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度 増加株式数(株)	当事業年度 減少株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	20,080,480	—	—	20,080,480
合計	20,080,480	—	—	20,080,480
自己株式				
普通株式(注)	4,073,463	379,791	—	4,453,254
合計	4,073,463	379,791	—	4,453,254

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加379,791株は、取締役会決議による自己株式の取得による増加379,600株、単元未満株式の買取りによる増加191株であります。

当事業年度(自2022年4月1日至2023年3月31日)

発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度 増加株式数(株)	当事業年度 減少株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式(注)1.	20,080,480	—	4,450,480	15,630,000
合計	20,080,480	—	4,450,480	15,630,000
自己株式				
普通株式(注)2.3.	4,453,254	120	4,450,480	2,894
合計	4,453,254	120	4,450,480	2,894

(注)1. 発行済株式総数の減少は、自己株式の消却による減少4,450,480株であります。

2. 普通株式の自己株式の増加は、単元未満株式買取りによる増加120株であります。

3. 自己株式の数の減少は、株式消却による減少4,450,480株であります。

〈持分法損益等〉

前事業年度、当事業年度のいずれにおいても、該当事項はありません。

〈セグメント情報〉

当社の事業内容は、指輪、ネックレス・ブレスレット、小物等の宝飾品の製造とその販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、前事業年度、当事業年度のいずれにおいても記載を省略しております。

〈1株当たり情報〉

	前事業年度 (自 2021年4月 1日) (至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月 1日) (至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	4,229円21銭	4,257円65銭
1株当たり当期純利益金額	43円35銭	58円21銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月 1日) (至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月 1日) (至 2023年3月31日)
当期純利益金額 (百万円)	684	909
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 (百万円)	684	909
期中平均株式数 (千株)	15,782	15,627

〈重要な後発事象〉

該当事項はありません。